

巻頭言

ご挨拶

平成 28 年 2 月 28 日に、ホテル信濃路で開催されました北信カンファレンスには、100 名を超える指導者の皆様にお集まりいただき、長時間にわたるディスカッションで、北信地区の 10 年を振り返りました。そして、様々な成果を確認し、新たな課題についても、貴重なご意見をたくさんいただきました。おそらく 10 年前、この長野市にプロチームができ、スタジアムができることを多くの方は予想していなかったと思います。また、今回のように、指導者の皆さんが、種別を超えて意見を交わす光景も予想できなかったかもしれません。しかし、多くの指導者の皆さんや地域の方のご尽力で、J リーグがあり、指導者が交流することは、北信地区では当たり前の光景になりました。このような環境を作り上げられた、皆様のたゆまぬ努力と実践に、改めて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。また、過去 9 回にわたり、長野市指導者交流会として行われてきたこの会を計画、運営してくださった技術委員の皆様にも深くお礼申し上げます。

さて、本日、新年度に向けた事務局会を開催し、皆様にお約束した北信育成ビジョン案をと 2016 年度技術委員会活動スローガンを決め出しました。様々なご意見があると思います。たとえ 10 年先でも、その目標達成は厳しいのではないかと考える方もおられると思います。しかし、一人一人が自分のできることを始めて、地域全体が一つの目標を意識して、熱意を持って取り組んでいけば、必ず良い結果が出ると思います。さらに、10 年を待たず、もっと大きな目標に修正することも必要になるかもしれません。2015 年度までに、北信地区では一定の成果と、何よりも多くの指導者の皆様が集まることができました。この力を結集し、これからの 10 年は、今まで以上に質の向上にこだわって、2025 年までに必ずこのビジョンを達成しましょう。

終わりに、以下は 2008 年の技術委員会便り第 4 号巻頭言で、委員長就任のあいさつとして書かせていただいた内容です。

本技術委員会は、すでにスタートしている 2008 シーズンは“技術委員会チャレンジ”として、次のような 7 つの活動を取り組みの柱としていきます。

1. トレセンの活動充実及びエリアトレセンの活動開始
2. 長野市育成指導指針の作成
3. トレセン、エリアトレセンに関わって指導者アカデミーの立ち上げ
4. キッズ・女子・フットサルの普及
5. リーグ戦文化定着・U-13までの 8 人制文化の定着
6. トレセン、リーグ戦を絡めた種別間の選手指導者の交流
7. 各種クリニック、指導者講習会の充実

8年間、長野市の技術委員長を務めさせていただきましたが、この間多くの方々に支えられ、これらの活動を皮切りに、活動を進めてこられたことを、重ねて感謝申し上げます。間違いなく北信地区の育成は変化し、前進しています。“地域全体で選手が育つ！” 私たちが協力し、切磋琢磨していくことで地域のレベルが上がり、そのことが最後には自分の目の前の選手の育成に返ってくると信じています。

私たちは選手の未来に触れている。次期技術委員長に就任する徳竹秀彦氏を中心に、今後も長野市サッカー協会技術委員会が、さらに北信地区をリードし、北信の力を結集して、長野県のサッカー界を発展させる一翼を担っていただけるものと信じております。私も微力ながら、初心に立ち返って協力していきたいと思いますので、今後もよろしくお願いいたします。8年間ありがとうございました。

長野市サッカー協会技術委員長：中澤真明

2016/3/27

<目次>

- ① 北信カンファレンス報告
- ② TOKUレポ(新委員長挨拶)
- ③ 各セクション年間事業総括

【 第 1 回北信技術フットボールカンファレンス報告（第 9 回長野市指導者交流会） 】

全体報告 （長野市技術委員 4 種担当 戸澤隆男）

長野市サッカー協会技術委員会主催で毎年開催していた長野市指導者交流会を千曲市サッカー協会・須坂市サッカー協会・中野市サッカー協会共催で、2016.02.28 新たに「第 1 回 北信技術フットボールカンファレンス」として開催しました。

北信地区から 100 名を超える各カテゴリーの指導者が集まり、各種別および各地域における過去の振り返り、取り組み、目標などを報告した後、現在の課題と日本サッカー協会、長野県サッカー協会が目指している未来に向けてのビジョンを確認しました。

■北信技術フットボールカンファレンス

□育成ビジョン過去 10 年間の検証と確認

2015NFA(長野県)ビジョン、2015NCFA(北信)ビジョンの過去の検証および振り返りと、新たな 10 年に向けた 2025NFA ビジョンを確認しました。

□ ディスカッション(メンバー6～7 名、17 グループによるディスカッション)

ディスカッションⅠは、地区別にグループを分け、過去 10 年間の変化(やった事、できた事、成果の確認)について、ブレインストーミングで意見を出し合い、グループ代表者が集約し発表しました。

ディスカッ

ションⅡは、種別単位にグループを分け、過去 10 年間の変化と 2015NCFA に向けてやっていきたい事や、JFA・県・市・Jへの希望・要望などをブレインストーミングで出し合い、グループ代表者が集約し発表しました。



□新潟県・新潟市の実践に学ぶ

「育成年代において躍進を遂げた、新潟県・新潟市の取り組みの背景および実践内容について」アルビレックス新潟の星直樹育成統括次長にお話を伺ったインタビュー動画を視聴しました。

■編集後記：地区別ディスカッションで、二人の娘さんの「なでしこジャパンになりたい！」という夢を叶えるため、コアトレーニングを実践させているお父さんコーチの発言がありました。10 年前であれば、そんな発言は、無かったでしょう。たとえあったとしても笑い話で終わったと思います。子供達の夢の実現のために真剣に取り組んでいる指導者・お父さんコーチがいて、今、その夢を笑う人はいません。確実にサッカーの日常は変わってきていると実感しました。

北信・長野県サッカーの技術向上のため長年にわたりご尽力された中澤技術委員長が、今回のカンファレンスを最後に退任されました。今後は、徳竹新技術委員長に引き継がれます。

ありがとうございました。

ディスカッション報告 （長野市技術委員 4 種担当 内山久人）

ディスカッション参加人数 111 名 （6～7 名で 17 グループに分かれてディスカッション）

○ ディスカッション 1 地区別ディスカッション

テーマ 【リーグ・ゲーム環境】【トレセン】【審判・指導者】【協会】【施設】
【選手・保護者】【J リーグと地域】

《リーグ・ゲーム環境 良くなった事・変化した事》

カレンダーが整備され、日程を調整しやすくなった。リーグ戦の位置づけ・重要性が上がった。

2 回総当たりとなり、成果と課題を持って臨めるようになった。

リーグ戦の重要性が上がり、結果 指導者・選手・審判の質の向上に上がった。

リーグ戦に対してモチベーションが上がった。

人工芝(中野市・千曲市)リバーフロントの芝の質

人工芝 Pitch だとコート設営が簡単

選手数が多いチームも、複数チームで参加できる

ユース審判の導入

選手が運営を行う(コート作り・補助員)

リーグ本部主催の研修開催（保護者・指導者・審判対象）

U-8/9 のリーグ戦開催

U-16 ナイターリーグ開催 → U-15 との交流・中 3、高 1 のサッカーをできる機会が増えた。

自由な交代でゲームを経験できる選手が増えた。

U-15 リーグ戦の開閉会式

《審判・指導者・選手・保護者 良くなった事・変化した事》

上級審判員・ユース審判 増

ライセンス保有指導者 増 → チーム数 増

保護者のサッカーに対する関心がすべての年代で高くなった

チーム・指導者に理解をしてくれる保護者が増えた。

南長野で J が観れる → マネをする → テクニック・戦術の向上

TV/ネット等で海外サッカーの情報(映像)が入る機会が増えた。多様化された。

リーグ戦でフェアプレー賞・審判アセスメントの導入 → 質の向上につながった

U-12 年代の女子のサッカー選手が増えてきた。

《 施設 》

千曲市サッカー場

他種別と交流が日常的にできるようになった。

中野市多目的サッカー場

定期的にトレセン・アカデミー活動ができるようになった

北部レクレーションパーク

照明設備・少年用ゴール

トレセンで2つのカテゴリ同時にトレーニング → 練習が増えた

木島平ジュニアサッカー場

施設予約がネットでできるようになった。

種別間の交流があることでグラウンドを借りられるようになった。

○ ディスカッション2 種別ディスカッション

【種別間での交流・関わり】【2025 育成ビジョンに向けて】やってきた事、やりたい事

北信だけでなく、他県、他地域との交流を増やしたい。

キッズ教室・グラスルーツの充実・南長野でキッズフェスティバルを

種別を超えたトレセン活動

U-12 レディースチームの設立

指導者が本気になる！

結果を求めすぎず、でも、結果を求める

他チーム・他種別との交流機会を増やし、良きライバルを増やす。

トレセンの全種別の情報共有

定期的な種別間交流(指導者・選手)

ゲーム・合同練習・他種別指導者のコーチング・指導者名簿一覧

高校生が小学生をコーチング

定期的な巡回指導 U6・U12・U15

2・3種 県2部リーグ以上に 北信6チーム以上

2種 選手権 ベスト8以上 総体 ベスト8以上に北信から4チーム以上

U12 全少 2次ラウンド突破 北信地区から！

トレセン専門のスタッフのチーム設立

【協会 JFA・県・市・J への要望】

人工芝・照明設備！ 農地をグラウンド転換

冬でもピッチでサッカーが出来る環境が欲しい

U6 サッカー大会・リーグ戦

Fリーグの試合を

各年代代表の合宿誘致

海外指導者のクリニック

南長野を会場にした大会を増やしてほしい

南長野の利用料金の削減(2種以下の割引料金設定)

高校生以下のJリーグ無料招待券を 年数回配布

指導者リフレッシュポイントのポイント交換 OOP→Jリーグ招待 OOP→代表戦招待 等

情報伝達をスムーズに行えるシステム

トレセンスタッフへの協会からの補助 ボランティア活動の上に更にボランティア活動が負担

ストライカープロジェクト

パルセイロに地元選手。J1 天皇杯 優勝

JFA・NFA からの一方的なトップダウンの改善

JFA・パルセイロからの情報のトップダウンの流れの作成

倫理講習会

U12 女子環境の改善 (リーグ・ゲーム)

U-12 にいる女子が集まれる大会・フェスティバルを

進行係をして

「前向きなディスカッションを！」と、お願いして どの年代の指導者からも「やる気」が物凄く感じ取れたディスカッションでした。

グラスルーツなくして、日本代表はない。

指導者のやる気を、選手のやる気を、地域で盛り上げていけるサポートの場をお手伝いできるような交流の場に立ち会えた事に幸せを感じました。

また、この書面をお借りして

つたない進行で、参加して頂いた皆様にご迷惑をお掛けいたしました。と同時に、ご協力に感謝申し上げます。

北信ビジョン提案 (長野市技術委員会副委員長 徳竹秀彦)

いよいよ新年度が始まります。長野市技術委員会も、中澤委員長から徳竹に引き継ぎ、次の10年間で1つの目標に、新たな展開の一步を進めていかねばなりません。とは申しまして、今この長野市や北信地区にこれだけのサッカー文化が根付いている事実は、今までそれぞれの地域で公私問わず汗をかき子どもの未来のために尽力してきてくださった指導者や地域の方々がいくださるおかげです。常に、そういった方々の思いや実績に感謝しながら、この先を考えていくことを忘れてはいけないと思っています。

ここでは新年度への基本的な方針、現段階で考えている組織等について伝えさせていただき、所信表明の意味も込めて、今後につなげていければと思います。よろしくお願いいたします。

2016年度スローガン

“サッカーの質向上を目指し みんなでハッピーな まちづくり!!”

- ① サッカーの指導を通して子どもの健全な成長と笑顔に責任をもとう！
- ② 年齢や種別を超えてみんなでサッカーをしよう！
- ③ 南長野スタジアムを拠点にサッカー文化を長野に！

◇スローガンで最も強調したいことは、「たくさんの人がサッカーに携わることで、地域がもっと良くなるんだ!!」ということ。そのためにも、やっても見ても楽しい攻守にわたり主導権を握ったサッカーがどこでも展開されることが大事だと考えます。全国に打って出られるサッカーに更に進化させていかねばなりません。そのための道筋を示し、全員の力を合わせてサッカーの競技力向上をはかることが技術委員の最大の役割であると考えます。

そしてその結果によって得られる幸運な自信や名誉もあると思います。しかし結果以上に大事に考えた
いは、日常から正しいサッカーをやっていると、オンザピッチやオフザピッチ問わず、みんなの人間の
な成長が約束され、北信地区がもっと活性化し未来を明るく照らすことができるということ。まずは大人
である我々指導者が「何のためにそこまでやるのか？」と問われたら、このスローガンを口にできれば間
違いないと考えました。そして抽象的ではありますが、この言葉や、そのための具体的な言動が広がって
いけば、行政も動かして人工芝グラウンドなどのハード面の整備にもつながっていくのだと思います。

①についてはその通り。暴言や体罰など様々な諸問題もサッカーから変えていけると思います。現に北
信の中体連バスケットボールの世界では、サッカーのフェアプレーシートを大いに参考にして指導環境
の改善に着手しています。すべて認めて、ぬるま湯の指導という意味でなく、子どもが将来指導者にな
って、我々のコーチングをそのままマネしても恥ずかしくないレベルで指導に当たることが重要だと思
います。少子化が進む今、「サッカーをやっている子どもは、あいさつもできるし、気づいて動ける。新
しいことにチャレンジする意欲も高く素晴らしい。」こんな姿が引き出せる指導ができれば最高だと思
います。

②ここは新たな取り組みとしてチャレンジしたいところです。指導者実技講習会やＴＣの集まりなどで、
我々が短時間で構わないのでサッカーをやりたいと思います。不摂生をしていけばケガもしますし、子
どもたちが見ていれば基本的なことはプレーで表現できなければ示しもつきません。何より汗をかいて
少年に戻る時間が大事だと思います。加えて、送迎してくる保護者にも事前に通知しておき、希望者を
集め、実技をして基本を伝え《おとうさん・おかあさんコーチ》のサポートをすることでもしてみたいです。

③南長野スタジアムは地域の大きな財産です。Ｊ３となでしこ１部リーグのプルセイロをみんなで応援
することを通して、日常会話の話題にサッカーのことが頻繁に出てくるような地域を目指したいです。
やはりそういった土壌ができて初めて全国に打って出られるのではないかと思います。ボールパーソン
などのサポートはもちろん、観客動員や応援の仕方にもこだわれば良いと思います。子どもたちにも、
プレーだけでなく、こうした取り組みが地域を盛り上げていくことにつながり、自分もその地域の一員
であるという自覚をさせていかねばなりません。

2016年の達成目標

A代表を北信から

年代別代表及びＪリーガー５名以上排出(プルセイロに北信から)

U-16 国体選抜 6 名以上

U-18 プリンスリーグ以上に 1 チーム以上参入

U-15 北信越リーグに常時 1 チーム以上、県トップリーグ

1 部に 3 チーム以上が参戦

2 種 全国高校選手権出場,1 回戦突破

3 種 全国大会ベスト 8

4 種 全国大会出場,上位トーナメント進出

女子 全国大会出場

① 長野市の技術委員会であるが、北信技術(委員会)の中核として活動をしていく。したがって、北信だか
ら長野市技術とは別という考えではなく、北信の様々な活動について、長野市技術委員会として取り組
んでいく。なお、北信技術は、現在はトレセンでのブロックや種別を越えたつながりによるものです。
具体的な組織はありません

②各部は、計画－実践－振り返り－報告(指導者便り)を確実に行う。その中で、特に振り返りや報告は、大会の結果ではなく、技術としての分析をする。特にスケジュールや環境改善で手がけたことの成果や課題を明確にしていく。

③技術委員会便りは、発行日を6回とする。2月の指導者交流会のアセスメントや反省に基づき、多くの指導者がタイムリーに読みたい情報を提供することと同時に、技術委員全員で手がける技術便りとした。本年度は別紙の通り、発行日の他に掲載内容も事前に決めておき、担当が準備をしておくようお願いいたします。

皆さんのご尽力により、長野市のサッカー環境も大きく変わってきました。しかし、世界や全国も同じように変化しています。本気で日常を変える。日常の風景をより良くしていくために、本年度も皆さんのお力をお貸しください。よろしくお願い致します。

最後に本年度の技術委員会開催日と、指導者便りの発行日は以下の通りです。ご都合をつけていただき、出席及び原稿の提出にご協力ください。

・技術委員会開催日

① 5月9日(月) ②7月4日(月) ③9月5日(月)
④11月7日(月) ⑤1月10日(火) ⑥3月6日(月)

・技術委員会便り発行日

年間6号発刊 県協会HPへ 技術委員会開催月の月末厳守

平成28年度技術委員会の方向

(県委員長・アドバイザー 飽田)

シニア 戸谷

2種 芦田・高橋・西澤・佐野(長野南)

3種 徳竹・北澤・原・倉島・伊藤・安楽・中村博一・眞中(パルセイロ)

4種 戸澤・島田・内山・田代(NOZAWANA)・吉田(ガーフ)

女子 川末(パルセイロ)

フットサル 藤井

キッズ 黒鳥

グラスルーツ 野澤

審判 中澤・宮澤

医事 金井(長野整形)

HP担当者 今後委員の中で選出

計25名 委員長：徳竹秀彦 副委員長：芦田 徹 副委員長：内山久人(案)

長野市技術委員会 2015 年度組織(案)

セクション	活動内容 ※本年度の柱	担当者
TSG	分析…技術委員会で発表 各種別、映像を使ってプレゼンまたはゲームを指定して分析 年 1 回は行う。	2 種◎芦田、佐野 3 種◎中村博、徳竹、眞中 4 種◎内山、吉田、川末
トレセン	一貫指導の確立…種別を超えた指導へ 北信トレセンの核として、北信技術委員会と連携し、 2015 年種別の枠を超えた指導体制を確立	◎原○田代、眞中、内山、 芦田、川末
リーグ戦、大会向上	現状把握と提案…適正人数、ルール工夫等提案 本来のねらいが理解されて行なわれているか 年代ごとに適正のルールで行なわれているか	2 種◎高橋、西澤 3 種◎安楽、倉島 4 種◎島田、戸谷
指導者研修・指導者養成	TSG、トレセンの分析を受けての研修会、交流会開催、伝達講習会 指導者養成,指導者交流会(2 月),サッカー理解	◎中澤○原、中村博
技術と審判の協調	フェアプレーコンテスト (ユース) 審判技術の向上,審判講習会	◎中澤、宮澤
普及(育成)	底辺拡大 各担当から目標値、達成すべき内容を提示	キッズ◎黒鳥 グラスルーツ◎野澤 女子◎川末 フットサル◎藤井 シニア◎戸谷
種別連絡(運営への提案)	種別と技術の連絡 技術の内容を確実に種別へ 双方向で ※ 指導者便りの活用 ※ 指導者講習会への参加	キッズ◎黒鳥 グラスルーツ◎野澤 女子◎川末 フットサル◎藤井 2 種◎芦田 3 種◎倉島 4 種◎島田
医事	医事関係全般…アンケートから W-UP 等の提案 各種医事関係研修の開催 選手への直接指導	◎金井
指導者便り	内容の充実 伝えるためのツールとして有効活動 セクションリーダーが責任をもって	◎西澤○北澤、戸澤 各セクション責任者
Jリーグ	長野パルセイロ応援、南長野 パルセイロの企画を応援していく立場 観るサッカー文化	◎中澤、眞中、高橋、倉島、 島田、川末、黒鳥、野澤
事務局	委員会開催要項、名簿、会計、記録、長野市HP関係	◎北澤、西澤、戸澤

【 TOKUレポ PART9（新委員長挨拶） 】

長野市技術員会副委員長 徳竹秀彦

「来年度の長野市技術委員長として自己紹介」

◇今回は今までの主旨と全く違い、わたしが来年度から長野市技術委員長という重責を、中澤委員長から引き継ぐということで、自己紹介をさせていただこうと思います。目的は、まだまだ指導者の方々や北信エリアでサッカーに関わって尽力されている方々からの知名度が低いわたしが、委員長という立場でよりよい関係を築いていくためのキッカケづくりのためです。自己紹介の中で何かしらの接点が見つかる方もきっといらっしゃると思いますので、これをキッカケにして今後気軽に声をかけていただけると有り難いです。よろしくお願いいたします。

《プロフィール》徳竹秀彦 1973年1月生まれ43歳 上水内郡小川村出身 三男 A型みずがめ座
小川少年サッカースクール⇒小川中学校サッカー部⇒東海第三（理数科）サッカー部⇒東海大学体育学部
体育学科サッカー部⇒田川高校講師（サッカー部）⇒須坂東中（サッカー部）⇒木祖中（サッカー部）⇒
岡谷南部中（男女バスケットボール部兼ボート同好会顧問）⇒広徳中（1年目は女子バレーボール部、2
年目以降サッカー部）⇒若穂中（剣道部） 県TCコーチ2期 監督2期

小学校1年から父親の影響で柔道と野球を始める。小学校4年の体育の授業でサッカーを知ると、柔道も野球もそっちのけでサッカー漬けの毎日に。中学2年3年と北信越選抜に選ばれ地域対抗戦に出場。中学3年の夏の最後は県大会をかけて墨坂中と決勝を戦いましたが、当時墨坂中の監督は飽田敏先生で巧みなオフサイドトラップに何度も引っかかり敗れました。高校は親元を離れ東海第三へ進学。2年3年と国体メンバーに選出されCBとして本国体に出場するも、どちらも開催県に当てられ一回戦敗退。プロになることを夢見て東海大学に進学するも挫折の4年間。公式戦出場機会は4年の春の関東選手権で、けが人が出たことによるCBで3試合出場のみ。プレーヤーとしての思い出と言え、新人戦で順天堂大学と戦い、相手チームにいた名波浩（現ジュビロ磐田監督）を背後から思い切り倒しイエローカードをもらったことぐらい。当時の東海大学は全盛期でその後プロになったり、代表に選ばれたりするメンバーが多かったです。今回、山雅のトップのコーチに就任した田坂和昭さんは大学の1つ上の先輩。元ジュビロ磐田の服部年宏は1つ下の後輩。また、1年の時の4年生には、現在解説者で活躍している元代表の沢登正朗さん、今はゴルファーに転向している元代表の磯貝洋光さんらがいました。

大学卒業後は、2つ目の目標である中学校教員として指導者の道を歩むことを目指し長野に戻ります。選手としては上田ジェンシャンが歓迎してくれ、7年間お世話になりました。その中で県リーグから北信越リーグに昇格できたり、当時のJFL（今のJ3）昇格のための決勝ラウンドまで勝ち進むことができたり、素晴らしい経験をたくさんさせてもらいました。

29歳の時、現委員長の中澤真明先生が監督を務めていたアンテロープ塩尻から誘いを受け「俺から出ていく奴はいるけど、俺のところに入ってくる奴はあまりいない。」の誘い文句に、何かの縁と使命を感じ移籍。幸運にも天皇杯長野県大会の決勝まで勝ち進み、松商学園と当たりましたが1-3で敗れました。当時の松商のエースは高橋義希（須坂市出身：現サガン鳥栖）で、須坂東中の時に関わった選手でした。ポジションもマッチアップしましたが、完敗でした。選手引退を決意しました。その後、中澤先生から監督を引き継ぎ1年間監督業に挑戦して社会人サッカーは卒業しました。

ところが、40歳になったところで全国シニア（40歳以上）大会に誘われ、安曇野アルフットの一員として全国大会に出場し、予選を勝ち抜き決勝トーナメントに進出することができました。準決勝でPK負けをしましたが、全国で3位という素晴らしい結果を手にすることができました。とはいえ、当時わたしは膝をケガしており、出場回数は数分でした。でも、ベンチから大声で叫んでいたのも、全国3位を自分の実績にできてしまっています。翌年は山雅の一員として同全国大会に出場し、試合には出ましたが1勝2分けて予選敗退となってしまいました。家族の都合もあるので、42歳から辞めています。次の目標はオーバー50からの現役復帰です。

今は毎日、砂を詰めたピンビールを左右100回ずつ振って手首の強化を行い、面打ちの向上に努めています。そしてこの3月、3年生との送別会で試合（ちゃんと審判が3人いて、みんなが見てる）にデビューし、3年女子副部長から一本を取ることができました（二本取られて負けましたが）。旗がサッと3本上がった時は感動しました。はい、それだけです。

自分の人生を振り返る良い機会となりました。書き方や内容によっては不快に感じる方もいるかもしれませんが、この自己紹介をキッカケにして、つながりを深めていければ幸いです。ここまで読んでくださった方、本当にありがとうございました。長野市技術委員長として自分に何ができるか？まだ考えている最中ですが、皆さまからの助言をいただきながら「サッカーの力で幸せな街づくりの実現」を少しでも前に進めていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

【 各セクション年間事業総括 】

「TSG＜3種＞」

○実施内容

- ・各種大会の映像撮影
- ・分析・報告

○目的

- ・3種年代のゲームより、成果・課題を分析し、共有する。
- ・把握した3種年代の現状を元に、トレーニング・ゲームにおける指導者の関わり方をディスカッションすることを通して、選手のレベルアップ及び指導者の指導力向上を目指す。

○技術向上・育成面での成果

- ・技術委員会の中で、映像を見ながら、3種年代のゲームについて意見交換ができた。
- ・3種の様々な大会（フェスティバル、中体連、トレセン等）を見ることにより、選手の目指すステージの様相が共有できた。

○課題と改善の展望

- ・技術委員会内だけにとどまらず、様々な方法で外部に展開し、多くの指導者の方と共有を図っていくことが必要である。
- ・今年度の様子をふまえて、来年度の分析を行い、経年の変化を分析・考察していくことが必要である。

「8人制・リーグ戦定着＜U13リーグ＞」

○実施内容

- ・北信の団体からU13・U12年代でチームをつのり、年間（5月から11月）を通してリーグ戦を行った。
- ・4つのグループリーグを構成し、グループ内2回以上総当たりとした。チャンピオンシップを行い表彰した。

○目的

- ・U13年代選手およびグループの活性化・育成を図る。
- ・U12年代のチームの参加もつのり、種別を超えた育成を提案する。
- ・8人制でゲームを行う環境を整備することで、U13年代選手がボールに触れる時間を多くすると共に、選手の少ない協会登録団体への参加の機会を増やす。
- ・指導者の交流を図り指導者としての資質の向上に努める。

○取り組みの特徴

- ・普段、試合機会の少な苦なりがちな年代に経験となる試合機会を提供する。
- ・総当たりとすることで、力の差も含め同世代の様子を体感できる刺激を与える。
- ・本年度は北信 U15 ユースサッカーリーグごとのグループ（U15 リーグ所属していないチームは振り分け）でリーグ戦開催日に行っていた。
- ・日本サッカー協会 M4 の取り組みにすることで補助金を会場提供チームに石灰等にて配った。
- ・優勝チームを表彰する場をつくり選手の意欲をあげると共にリスペクトする習慣をつくる。

○技術向上・育成面での成果

- ・選手に豊富な経験を与えることができた。
- ・北信 U15YSL とセットで行うことで、チームの負担軽減を図った。
- ・試合の勝敗も大切だが、チャレンジさせることが大切であるといった雰囲気指導者はもちろん保護者からも感じられるようになってきた。
- ・保護者審判が多くなってきた。ユース審判（U14 や U15）も活躍できた。

○課題と改善の展望

- ・北信から県リーグへの推薦チーム選考について、理解と羞恥が必要であった。
- ・年々 U12 リーグチームの参加減少が感じられ、U12 チームの参加を増やしたいが、カレンダー調整等が課題となる、トレセンチームのスポット参戦も活性化の一助になる。
- ・チーム数が増え、試合消化の運営面からも 2 グループに分けて実施した方が運営のこまわりがきくと思われる。グループ上位チームとおしのチャンピオンズカップがあっても良い

「キッズ」

からだを動かすことが好きな子どもを増やすこと、楽しみながらサッカー技術習得を目指すことを目標に、今年度も、①保育園・幼稚園・小学校などへの巡回指導（パルセイロ・キッズ委員会）②キッズフェスティバル（キッズ委員会）を実施。

「医科学サポートの構築と長野市での傷害の把握」

○実施内容

- ・北信地区大会での大会救護
- ・県大会での大会救護
- ・中学校での傷害予防講習会の実施

○目的

- ・大会救護を実施することで、選手が安全かつ安心してプレーができる。
- ・傷害予防を行うためにコンディショニングの普及につなげる。

○取り組みの特徴

- ・大会救護に関しては、応急処置でなく、ケガの相談や予防のためのコンディショニング相談を実施して、障害の起こる確率を減少させていく
- ・講習会を希望しているチームに対して、出張でストレッチなどのコンディショニングを指導する。

○技術向上・育成面での成果

- ・大会救護でコンディショニング指導をしていたことで、チームケアのためのアイシングやウォーミングアップとしてのトレーニングを実施していることで、少しずつ普及している。

○課題と改善の展望

- ・大会救護に関しては特にありませんが、この機会を利用して簡単な講習会を実施するのも良いと考える。
- ・希望しているチームが少ないため、指導者とコミュニケーションをとりながら、多くのチームに実施していきたい。

「指導者だより」

○実施内容

- ・年 6 回の指導者だよりの発行

○目的

- ・指導者間の情報共有を図る

○取り組みの特徴

- ・各担当技術委員に原稿を作成してもらい指導者だよりとして発行する。

○課題と改善の展望

- ・より多くの指導者の方に興味を持ってもらえるように工夫が必要である。

「技術と審判の協調」

○実施内容

- ・種別ごとの審判講習会、研修会の開催 4 種北信少年リーグ 3 種中体連北信大会
- ・3 種北信リーグでの審判アセスメント用紙の導入。
- ・3 種のゲームにおける審判全力宣言。
- ・ユース審判資格取得講習会追加開催 2 月 28 日(日)更北中学校 104 名受講

○目的

- ・審判技術の向上。
- ・将来上級審判を目指す選手を増やす。(篠ノ井東中 3 級審判表彰)
- ・ユース審判員の増員。

○取り組みの特徴

- ・県審判委員会と協力し、インストラクターや上級審判を招へいして、トレンドも学ぶことができる。
- ・お父さんコーチ、審判員のレベルアップ。また、日頃の審判活動の悩みなどの把握。

○技術向上・育成面での成果

- ・ここ数年フェアなゲームが定着してきている。
- ・レフリングの振り返りが、技術面での振り返りにつながっている。

○課題と改善の展望

- ・長野市内に 2 級以上の審判員が少ない。
- ・研修会や大会での審判講習をもっと増やしたい。
- ・ユース審判の質の向上と、大人の審判のさらなる向上。
- ・フェアだけでなくタフなゲーム(強さ、続ける力)をもっと日常としたい。

「夢・Ｊリーグ」

○実施内容

「長野市フェスティバル(9月22日3種レディースと23日4種トップ選手と)でのパルセイロ選手との交流」

「中体連チーム(部活動)及び女子チームのパルセイロトップ選手による巡回指導」

巡回指導実施チーム 裾花中学校・墨坂中学校・松代中学校・篠ノ井西中学校・更北中学校・レジーナ

○目的

- ・南長野のピッチを体験しながら、プロ選手と楽しくプレーできる。
- ・プロの選手とともにプレーすることで刺激を受け、自分の目標設定に生かす。(あこがれ、将来の夢と現在のプレーの向上に対する目標)

○取り組みの特徴

- ・長野市フェスティバルは、3種ではレディーストップの選手との交流で、特に女子選手の交流機会を重視した。
- ・Ｊ3で活躍する選手とともにプレーしたり、プロの選手のプレーを見たりして学ぶことができる。
- ・プロ選手と質疑応答しながら学ぶことができる。
- ・プロコーチからトレーニングを受けることができる。(コーディネーションも)

○技術向上・育成面での成果

- ・日常と同じトレーニングメニューでも、選手たちの意識や意欲が高まり、質の高いトレーニングができた。自ら学ぼう、チャレンジしようとする選手が多かった。
- ・指導者によれば、プロ選手を間近に見て、自分の目標がより明確になった選手がいた。

○課題と改善の展望

- ・長野市フェスティバルでは、より良い交流ができるように、早めの準備が必要である。
- ・グラウンドコンディションや日没に左右される時期である。広いピッチで行うことや、より多くのチームでの巡回指導を実現したい。
- ・2種や女子チームでの活動も広げたい。
- ・トップチームのホームゲームの観戦や、指導者養成事業などとの連携を図りたい。